

# プレコンセプション・ヘルスとSmall-for-Gestational-Ageとの関連

メタデータ	言語: jpn 出版者: 日本DOHaD学会事務局 公開日: 2019-08-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 林, 育代, 山口, 建, 永井, 成美, 高倉, 賢二, 坂根, 直樹 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/00003639">http://hdl.handle.net/10271/00003639</a>

## プレコンセプション・ヘルスと Small-for-Gestational-Age との関連

林 育代<sup>\*1,3</sup>, 山口 建<sup>\*1,4</sup>, 永井成美<sup>\*3</sup>, 高倉 賢二<sup>\*2</sup>, 坂根直樹<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup>国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター, <sup>\*2</sup>国立病院機構京都医療センター 産科婦人科, <sup>\*3</sup>兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科, <sup>\*4</sup>京都大学大学院 医学研究科 婦人科学産科学

### 【背景・目的】

低出生体重は、児の将来の生活習慣病リスクを高める懸念がある。近年、プレコンセプション・ヘルスとしての生活習慣のあり方に関心が寄せられている。本研究は、妊婦の妊娠前の生活習慣や食物摂取状況と児の出生体重との関連について検討した。

### 【対象・方法】

単胎妊娠の日本人妊婦702名を対象に、妊娠前の喫煙、食物摂取頻度、葉酸サプリメントの摂取に関する生活習慣調査を行った。食物摂取頻度は、ごはん、パン、麺、肉料理、魚料理、青背魚、野菜料理、緑黄色野菜、果物、乳製品等について、5件法で回答を得た。Small-for-gestational-age (SGA) を主要評価項目とした。妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群、早産の妊婦とその児は解析対象から除外した。SGA 児の出生に対する、母体の年齢、身長、妊娠前体格 (BMI)、および喫煙、食物摂取頻度、葉酸サプリメント摂取の影響を検討するため、ロジスティック回帰分析による単変量・多変量解析を行った。

### 【結果】

554 ペアの母児を解析対象とした。SGA は 7.8% ( $n = 43$ ) であった。母体年齢は、SGA 群:  $32.7 \pm 5.6$  歳, 対照群:  $31.5 \pm 5.3$  歳であった。身長は、SGA 群が対照群より低かった ( $156.3 \pm 5.3$  cm vs.  $158.7 \pm 5.6$  cm,  $P = 0.008$ )。妊娠前 BMI に差はなかった ( $20.1 \pm 3.7$  kg/m<sup>2</sup> vs.  $21.0 \pm 3.0$  kg/m<sup>2</sup>,  $P = 0.90$ )。単変量解析の結果、SGA 児の出生と有意な関連が見られた因子は、身長 [粗オッズ比 0.79, 95%信頼区間 0.67-0.95,  $P = 0.009$ ] および緑黄色野菜の摂取頻度 [0.82, 0.69-0.98,  $P = 0.03$ ] であった。年齢、喫煙有無、葉酸サプリメント摂取有無と SGA 児の出生に関連はみられなかった (それぞれ, [1.04, 0.98-1.11,  $P = 0.18$ ], [1.05, 0.49-2.26,  $P = 0.90$ ], [0.77, 0.32-1.88,  $P = 0.56$ ])。年齢、身長、喫煙、葉酸サプリメント摂取を調整因子とした多変量解析においても、緑黄色野菜の摂取頻度は SGA 児の出生に関連していた [調整オッズ比 0.81, 0.68-0.97,  $P = 0.02$ ]。

### 【結論】

SGA 児の出生には、妊娠前の喫煙や体格、葉酸サプリメント摂取を調整した後も、緑黄色野菜の摂取が関連することが示された。プレコンセプション・ヘルスのあり方として、緑黄色野菜の摂取に富む食生活は、児の出生体重の低下に対し予防的に働く可能性がある。